

2020年5月26日
マツダ株式会社

医療現場で活用可能なマツダ製フェイスシールドフレームの供給を開始

—新型コロナウイルス感染症対策のため、広島県内の産官が連携—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、医療現場の皆さまにお役立ていただくため、広島県、株式会社ジェイ・エム・エス(広島県広島市)^{※1}、株式会社石井表記(広島県福山市 以下、石井表記)^{※2}と連携して、医療現場で活用可能なフェイスシールドの供給を決定しました。

マツダでは、本年5月25日にフェイスシールドフレームの生産を開始し、本日から順次納入します。本製品は石井表記が生産するシールドフィルムと組み合わせ、初回分として約3,000個を広島県を通じて、地域の医療機関にお届けする予定です。

加えて、マツダおよび関連会社においても、ソーシャル・ディスタンス(社会的距離)の確保が困難な職場で、このフェイスシールドを活用し、新型コロナウイルス感染予防に努めます。

本製品は、医療現場や自動車の製造現場などさまざまな業務に従事される方が、長時間負担なく着用していただくことを前提に開発しました。自動車のバンパーに使用するポリプロピレン(PP 材)を使用し、耐久性とフィット感をもたせました。また、後頭部に位置する部分をゴムなどで固定できる仕様を採用し、利用する方の好みの装着感に微調整が可能です。さらに、石井表記が生産するシールドフィルムは、細かな作業時にもストレスなく利用できるよう、高い透明度でクリアな視界を確保しています。

本日、マツダの特別顧問 西山 雷大(にしやま らいた)は、本製品寄贈のため広島県庁を訪れ、「新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日々最前線で尽力されている医療関係の皆さまに安心してお使いいただけるフェイスシールドをお届けできるよう、産官が連携して本製品の生産、供給の準備を進めてまいりました。引き続き、広島に根差す企業として、感染拡大防止に貢献してまいります」と述べました。

※1 株式会社ジェイ・エム・エス: 医療機器・医薬品製造販売事業者で、シールドフィルムの販売協力(寄付先からの追加購入等に対応)。

※2 株式会社石井表記: プリント基板製造装置等のメーカーで、シールドフィルムを製造。



以上